

## (5) 新型コロナウイルス感染のリスクを伴う学習活動について

学校で、以下の学習活動を行う場合は、指導の時期を学校内で見極め、最大限の感染防止対策を講じる必要があります。

- ・音楽（器楽、歌唱の指導）
- ・家庭科の調理実習
- ・外国語活動
- ・体育科において3密の回避が難しい内容 等

ここでは、学校で器楽や歌唱を指導する場合と外国語活動を指導する場合の留意事項について、文科省の通知文等に基づき、指導例を示していきます。

### 👉 音楽の授業【器楽】を行なう上での留意事項

**実施しない!**

- ❶ 狭い空間や密閉状態での器楽指導
- ❷ 狭い空間や密閉状態での身体の接触を伴う活動
- ❸ 密集して長時間活動するグループ活動

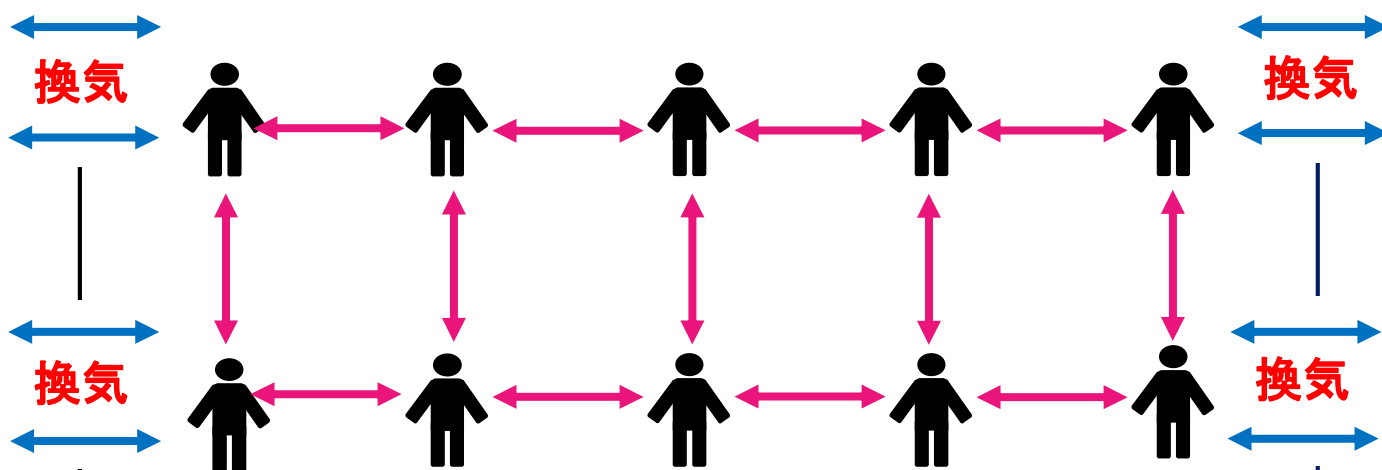
### 器楽活動 リコーダー・鍵盤ハーモニカを演奏する場合

以下のような指導が必要です。

- リコーダーや鍵盤ハーモニカの口先を振り回さないこと。
- リコーダーや鍵盤ハーモニカの演奏をしないときは、マスクを着用する。  
(他の演奏を聞いている時や説明を聞いている時など)



- 密集状態を避ける（前後の間隔を十分にとる）
- 近距離で向かい合って演奏しない
- 換気をして風通しをよくする



共用の教材・教具を使用する場合 使用前後は**手洗い**を忘れずに!



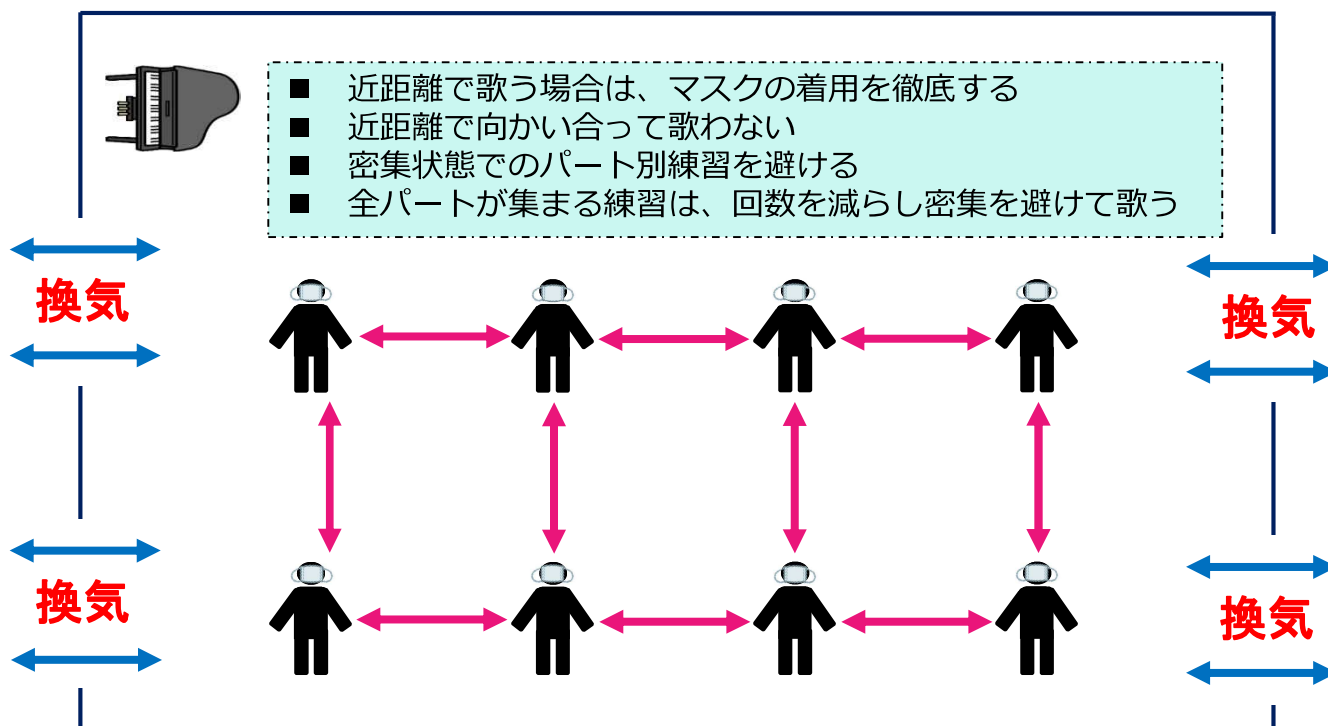
## 📖 音楽の授業【歌唱】を行なう上での留意事項

学校で歌唱を指導する場合の留意事項について、文科省の通知文等に基づき、留意事項を示していきます。

歌唱活動を行う場合、マスク着用の場合とマスクを外す場合が考えられます。どちらの場合においても、下記の①～③に示した活動は実施してはいけない内容です。

**実施しない!**

- ① 狭い空間や密閉状態での歌唱指導
- ② 狭い空間や密閉状態での身体の接触を伴う活動
- ③ 密集して長時間活動するグループ活動



### マスクを着用して、歌唱活動を行なう場合

- 授業を始める前に、十分な給水をするように指導しましょう。暑い時期はマスクにより、体温が上昇し、熱中症の心配があります。
- 少しでも気分が悪くなったら、すぐに知らせよう児童生徒に事前に説明しておきましょう。
- マスクを着用して歌う場合は、「ハミングで歌う」や「小さな声で音程を意識して歌う」などの学習活動も考えられます。

### マスクを外して、歌唱活動を行なう場合



- 十分な感染防止が確保できる場合には、マスクを外して歌うことも考えられます。
- その際も、他の児童生徒の歌声を聴いている時や、教師の説明を聞いている時は、マスクを着用するよう指導しましょう。

## 👉 外国語教育におけるポイント

### ★ 4つのポイント

- ① 歌やチャンツ、対話等を行う場合の一定の距離の確保
- ② ALT（ネイティブ）の活用の工夫
- ③ デジタル教材やタブレット等のICT機器の積極的な活用
- ④ ZOOM等を活用したALTとの同時双方向型の授業



例：We Can! 2 Unit 2 「Welcome to Japan.」（第6学年）

#### 【単元の目標】

- ・ 日本の行事や食べ物などについて、聞いたり言ったりすることができる。
- ・ 日本の行事や食べ物、自分が好きな日本文化について伝え合ったり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。
- ・ 他者に配慮しながら、日本文化について伝え合おうとする。



時	大まかな学習の流れ	外国語教育の充実にに向けた活動例	関連
1 2	日本の文化（行事・食べ物など）について聞き、興味をもつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 児童との距離を一定に保ち、授業者とALTのやり取りを児童に紹介し、「日本の文化をALTの〇〇先生に紹介して、日本を好きになってもらおう！」という本単元のめあてをもたせる。</li> <li>➤ デジタル教材を活用し、日本の行事や食べ物などの英語表現を繰り返し聞くようにする。</li> </ul>	②  ① ③
3 4	日本の食文化について、どんなものがあるか聞いたり話したりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ デジタル教材を活用し、日本の食文化について紹介をする際の表現について、一定の距離を確保した上で聞いたり話したりする。</li> <li>➤ 一定の距離を確保して、ALTの先生に紹介したい日本の食文化について友達と伝え合うようにする。</li> </ul>	① ③  ②
5 6	日本の遊び、伝統文化について、聞いたり話したりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ デジタル教材を活用し、日本の遊びや伝統文化について紹介をする表現について、一定の距離を確保した上で聞いたり話したりする。</li> </ul>	① ③
7 8	相手意識をもって、自分が好きな日本の文化について紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 広い場所を使って、ALTの先生に自分の好きな日本の文化を紹介する。（ZOOM等を活用して、児童とALTによる同時双方向型の授業も考えられる。）</li> </ul>	② ④

### ☆ ALT活用の工夫

#### ● 担任の補助として

児童生徒への直接的な指導だけでなく、指導計画の立案や指導内容の構築等で協力を依頼し、授業の充実を図る。

#### ● 自然な英語のモデルとして

フェイスシールド等で表情が見える予防策を講じ、正しい発音、自然な英語の表現等、担任の苦手としていることを担任の代わりに子どもたちに示す。

#### ● コミュニケーションを図る相手として

ALTと伝え合うことをコミュニケーションの目的とし、場面や状況の設定を工夫しながら、言語活動の充実を図る。

### ☆ 一定の距離の確保

○机を向かい合わせや隣同士にしない。

○児童生徒の立ち位置に印を付けたり、目印になるものを置いたり、広い場所で実施したりする。

○コミュニケーションの一環としてよくある「ハイタッチ」等をしない。